

「なでしこ銘柄2018」 住宅・建設業界で唯一 5度目の選定

積水ハウス株式会社は、3月22日 経済産業省と東京証券取引所が共同で実施している平成29年度「なでしこ銘柄」に選定されました。

「なでしこ銘柄」への選定は、住宅・建設業界で唯一5度目となります。



積水ハウスの取り組み、評価ポイント

- 女性の活躍を経営戦略と位置付け、経営者層によるコミットメントを発信
- 女性管理職候補者を育成する研修「積水ハウス ウィメンズ カレッジ」を開催し、管理職登用を促進
- 仕事と育児・介護の両立を支援する、柔軟性の高い勤務制度の導入・運用（在宅勤務制度など）

積水ハウスでは、住宅を通じて社会問題を解決するというビジョンの実現に向け、女性の活躍を経営戦略に位置付けています。2006年に人事基本方針として「人材サステナビリティ」を宣言し、「女性活躍の推進」「多様な人材の活用」「多様な働き方、ワーク・ライフ・バランスの支援」を柱として推進してきました。同年「女性活躍推進グループ」を発足、2014年2月からは「ダイバーシティ推進室」として女性の活躍推進を中心に、多様な人材の活躍に向けた取り組みを推進してきました。2018年4月1日には「ダイバーシティ推進部」へ発展改組し、「女性のキャリア促進」「両立サポート」「働き方改革」の3つの観点で、女性の活躍推進を更に強化し、全員を当事者とする取り組みを加速させていきます。

今後も多様な意見・価値観を経営に反映することを目的に、経営への女性の参画を推進します。この度、社外取締役吉丸由紀子氏（現、株式会社ニフコ 執行役員）、社外監査役槇村久子氏（現、関西電力株式会社 社外監査役）を迎えます。合わせて、現ダイバーシティ推進室長の伊藤みどりを執行役員に任命し、伊藤を含め生え抜きの女性3名を職責者として登用します。

将来の女性リーダー候補となる女性管理職も着実に増加しており、2006年には、グループで15人であった女性管理職は、2018年1月末には158人となり、2020年度までに200人の登用を目指します。女性管理職登用促進に向けた研修「積水ハウス ウィメンズ カレッジ」では、2年間単位で座学のみならず実践問題解決のカリキュラムを実施しており、新モデルの提案、コストダウン、人材育成などの実践成果を生み出しています。

積水ハウスグループ企業理念の根本哲学「人間愛」を元に、全ての多様な人材が活躍できる働き方改革「わくわく ドキドキ 心躍る職場づくり」の取り組みを推進し、女性の活躍、育児・介護の両立支援などのダイバーシティ推進に一層取り組み、人間性豊かな住まいと環境の創造を進めてまいります。

積水ハウスのダイバーシティの取り組み

<http://www.sekisuihouse.co.jp/company/diversity/>